

嬉野医療センターを受診された患者さまへ

研究情報公開について

通常、臨床研究を実施する際には、文章もしくは口頭で説明・同意を行い実施します。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いた研究については、国が定めた指針に基づき「対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得る必要はありません」が、研究の目的を含めて、研究の実施についての情報を公開し、さらに拒否の機会を保障することが必要です。

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象に該当する可能性がある方で、診療情報等を研究目的に利用、または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

研究課題名	(第114回 日本消化器病学会 九州支部例会) 当院における80歳以上の胃癌手術症例に対する検討
研究責任者(所属名)	蕨 和夫 (消化器外科 医長)
本研究の目的	高齢者化社会の急速な進展により消化器疾患においても高齢者に対する手術機会が日常的に増加しつつあります。本研究では、80歳以上の高齢者に対する胃癌手術症例について、周術期におけるリスク因子を明らかにすることを目的としています。これにより、今後さらに増加すると思われる高齢者胃癌手術症例に対する周術期管理の質の向上が期待できると考えられます。
調査データの該当期間	2016年1月から2019年8月まで
研究の方法 (使用する試料等)	当科で2016年1月から2019年8月までに根治手術を施行した胃癌手術症例のうち胃切除を行った96症例を対象として、80歳以上(80以上群)26症例と80歳未満(80未満群)70症例の2群に分けて周術期の各種パラメータに関して比較検討を行います。 具体的な検討項目としては、手術時間、出血量、基礎疾患の有無、術後合併症、入院日数、血中アルブミン値、total risk scoreなどがあります。
個人情報の取り扱い	利用する情報から、氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除した状態で取り扱われます。研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は一切利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：0954-43-1120 (代表) 担当者：管理課長
備考	